

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<47週> 咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなど、夏季の流行疾患の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第47週の報告患者総数は56



病原体情報  
P.5

インフルエンザウイルス分離報告 / 感染性胃腸炎 - SRSVおよび  
ロタウイルス検出報告



速報  
P.6-7

かぶの浅漬けに関連した老人保健施設における腸管出血性大腸菌O157感染症の集団発生 - 埼玉県 / 他



海外感染症情報  
P.8-9

カボベルデでポリオの流行 / ウガンダでのエボラ出血熱 - 更新 / 他



感染症の話  
P.10-12

レプトスピラ症  
保菌動物(ドブネズミ等)の尿等で汚染された水から主に経皮的に感染するとされる



読者のコーナー  
P.13



グラフ総覧(47週)  
P.14-20



47週のデータ  
P.21-28



# 発生動向総覧

第47週コメント 12月1日集計分

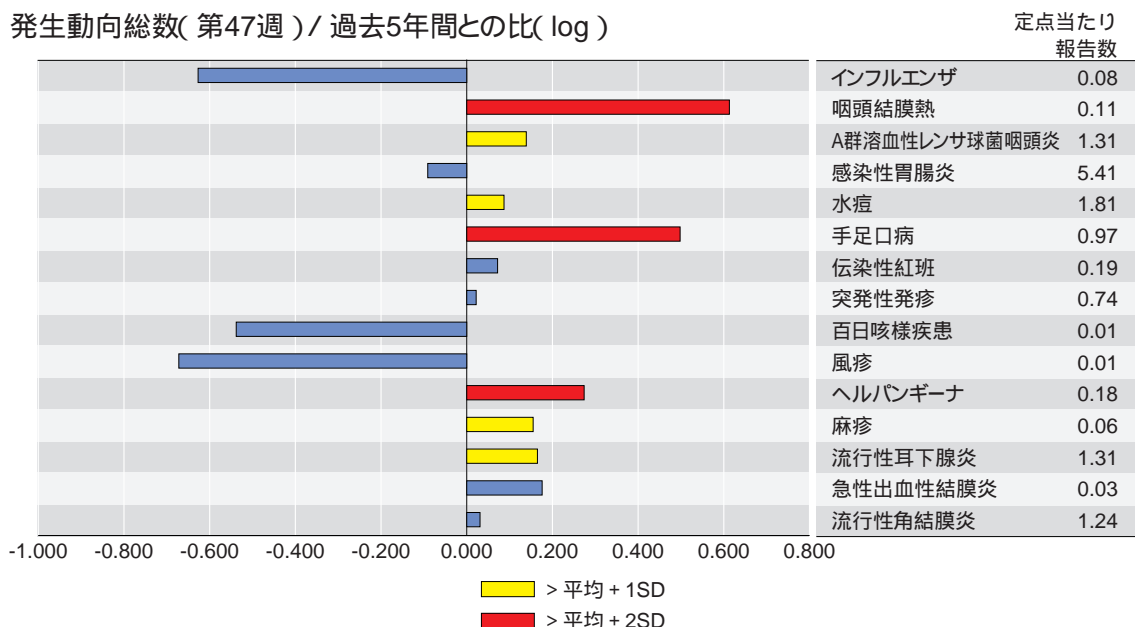
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢14例( 推定感染地: 国内7例、エジプト2例、インド2例、インドネシア1例、感染地不明2例 )国内感染のうち4例は長野県からの報告で、保育園での集団発生事例。腸チフス1例( 推定感染地: ネパール )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症56例
- 4類感染症: アメーバ赤痢2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例( 孤発性 )  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症1例、ツツガムシ病40例、破傷風1例、レジオネラ症1例。  
ツツガムシ病はこのところ報告が多くなっており、今週は神奈川県から9例、広島県、宮崎県、鹿児島県から各4例の報告があった。  
急性ウイルス性肝炎5例                   A型1例  
  B型3例\_\_感染経路不明1例、性行為感染2例  
  C型1例\_\_感染経路不明  
後天性免疫不全症候群4例( すべて無症候性キャリア )  
  感染経路\_\_不明1例、性行為感染3例うち同性間3例  
梅毒3例( 早期顕症1例、晩期顕症0例、無症候2例、先天梅毒0例 )  
マラリア2例( 三日熱マラリア2例\_\_推定感染地: インド、ウガンダ各1例 )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎、麻疹の定点当たり報告数が例年の同時期に比べやや多くなっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は鳥取県で定点当たり報告数4.9、水痘は山形県で5.6、青森県で4.1と多くなっている。麻疹は奈良県と高知県で患者報告数が多くなっている。流行性耳下腺炎は埼玉県で定点当たり3.3の報告がある。感染性胃腸炎は現在のところ平年並みの流行曲線となっているが、京都府、宮城県、山口県、福岡県、石川県で定点当たり報告数が10を超えている( 感染性胃腸炎の病原体については5ページ病原体情報参照 )。インフルエンザの活動性はまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.08となっている。咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなど、夏季の流行疾患の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。ヘルパンギーナは愛媛県で定点当たり2.3と報告が多くなっている。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり6.73、長崎県、熊本県で4.0、福岡県で3.4と九州地方で報告が多くなっている。

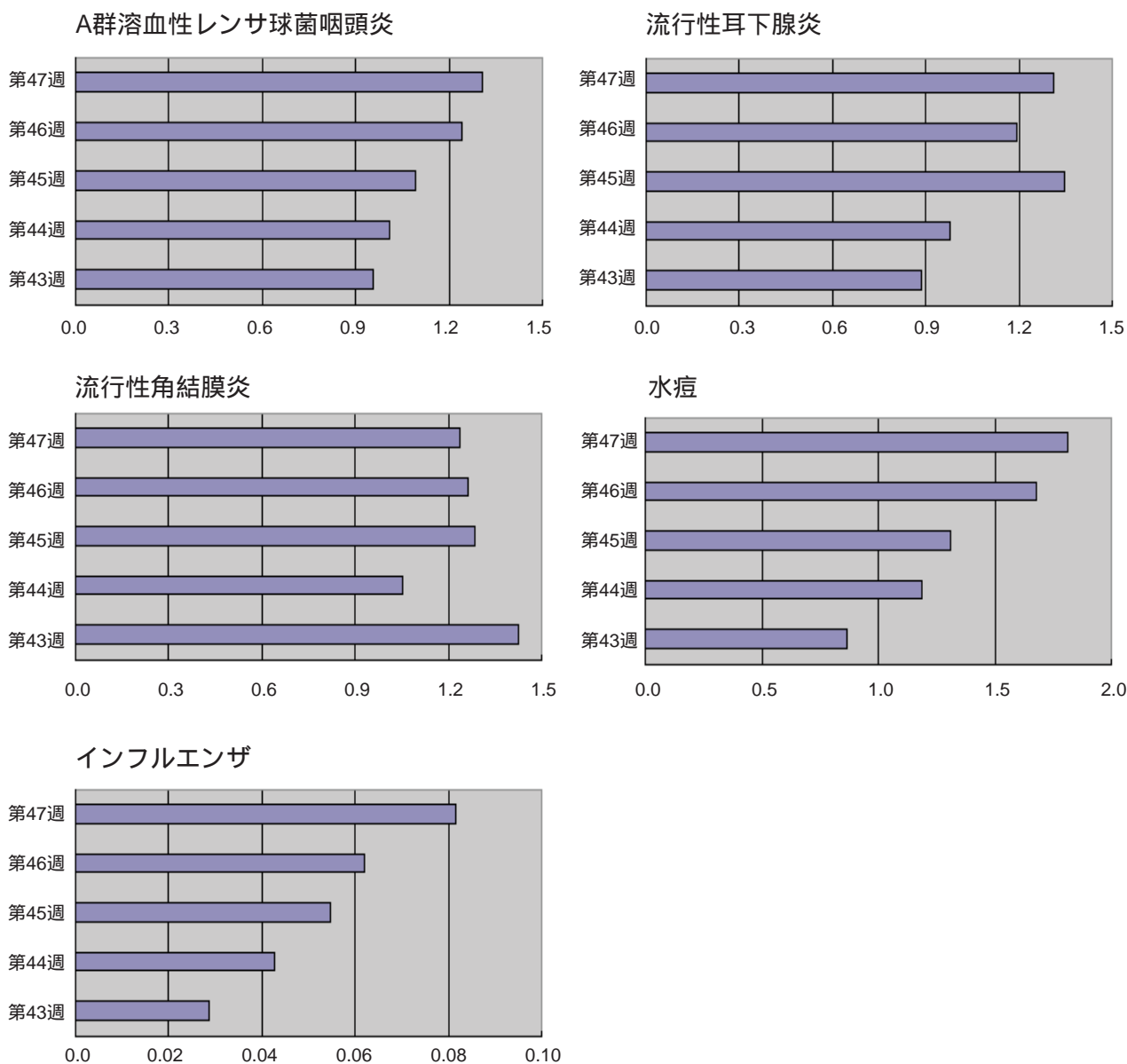
発生動向総数( 第47週 ) / 過去5年間との比( log )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

## 最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は6週続けて定点当たり報告数が増加した。流行性耳下腺炎は前週よりやや定点当たり報告数が増加しており、ここ5週間では増加傾向を示している。冬季の流行としては過去10年間で最大だった1997年の流行に匹敵する定点当たり報告数となっている。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は前週とほぼ変わらない。水痘の定点当たり報告数は増加傾向にある。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、緩やかな増加傾向を示している。



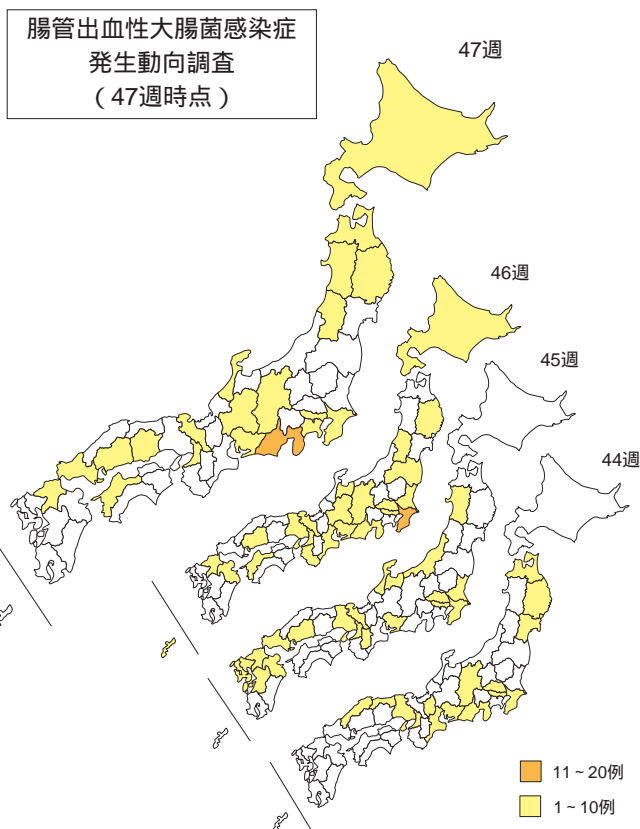
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



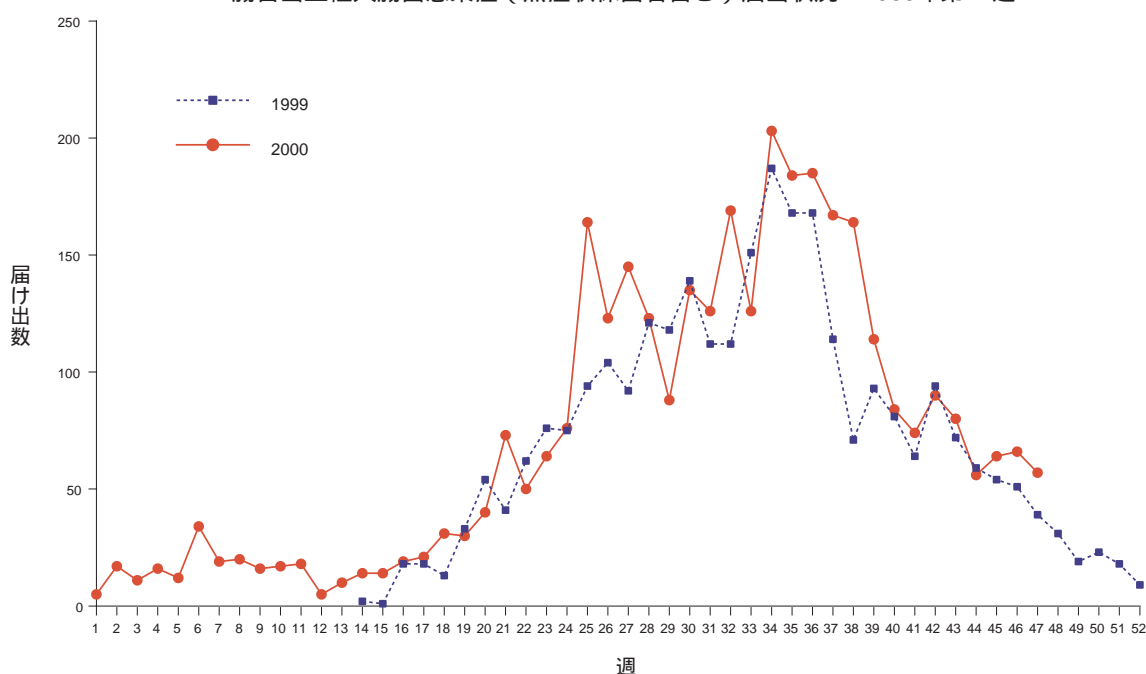
# 注目すべき感染症

## 腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第47週( 11月20日 ~ 11月26日 )の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数( 無症状病原体保有者含む )は56であった。千葉県から8例が報告されており、第45・46週にも報告のあった県内の催事における集団感染事例( O157: VT2( + ) )の一部である。静岡県からは15例が報告されており、県内の保育園における集団感染事例( O26: VT1( + ) )が確認されている。2000年第1週からの累積患者報告数は3,409となり、大阪府、東京都、神奈川県、愛知県、福岡県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い。



腸管出血性大腸菌感染症 ( 無症状保菌者含む ) 届出状況 2000年第47週





# 病原体情報

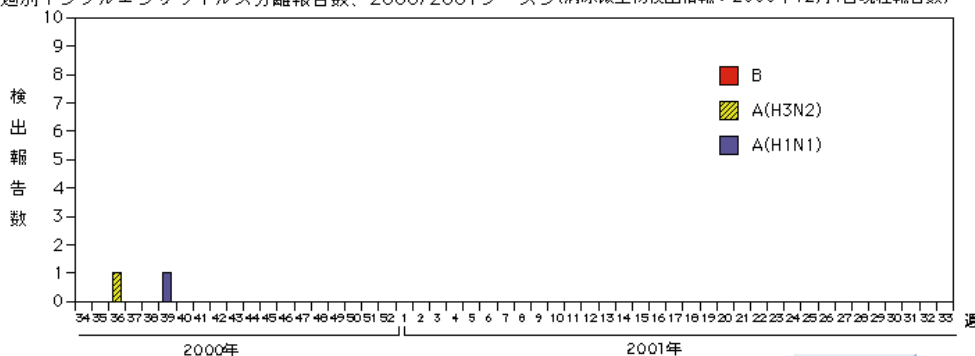
( 2000年12月1日現在報告分 )

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

## インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズン初めての分離報告として、第36週に広島県からインフルエンザA/香港( H3N2 )型ウイルスが1件報告されている。また第39週( 9月25日検体採取 )に横浜市からA/ソ連( H1N1未同定 )型ウイルスが1件報告された。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、2000/2001シーズン(病原微生物検出情報：2000年12月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



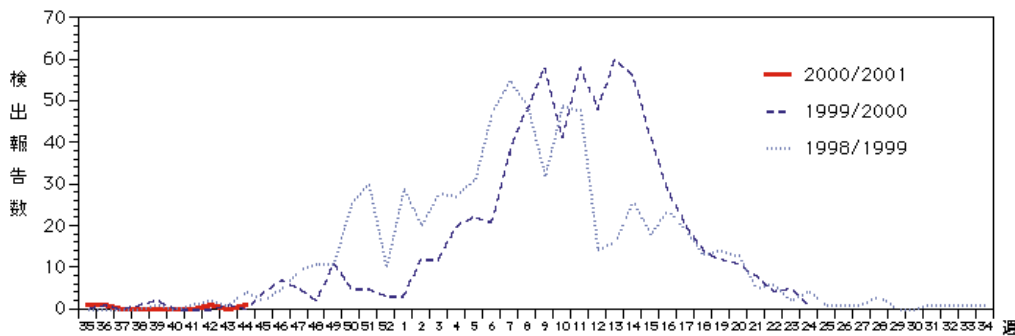
Infectious Agents Surveillance Report

## 感染性胃腸炎 2000/2001シーズン SRSVおよびロタウイルス検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出報告は、大阪府から2件( 第35、42週 )、愛知県( 第36週 )、山梨県( 第44週 )から各1件の報告があった。またSRSVは、新潟県から6件( 第36、42、43、45週 )、北九州市から3件( 第37、43週 )報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報：2000年12月1日現在報告数)



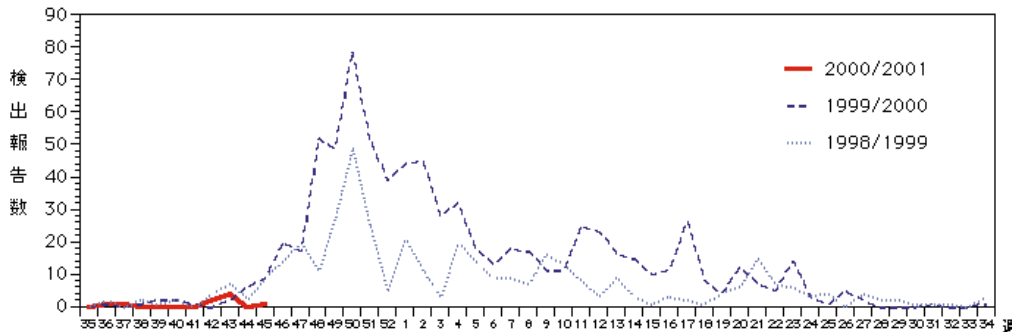
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報：2000年11月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## かぶの浅漬けに関連した老人保健施設における腸管出血性大腸菌O157感染症の集団発生 - 埼玉県

2000(平成12)年6月23日、埼玉県埼玉葛北福祉保健総合センターは、同管内の老人保健施設入所者中で発生した胃腸炎患者集団発生の一報を受けた。以下に、その実地疫学調査の結果を要約する。

今回の集団発生における感染の危険因子を決定するために、当該老人保健施設の入所者82名に関して症例対照研究を行った。対象とした症例の定義は、2000年6月14日～30日までの間に急性の腹痛を伴う血便を呈した者とした。入所者の8.5%に当たる7名が症例に該当し、発症は6月19日～23日の間であることが判明した。7名全員に血便・腹痛に加え発熱が認められたが、下痢は3名のみ留まった。溶血性尿毒症症候群(HUS)を合併した1名と、感染が誘引になったとみられる心不全を併発した2名、合計3名が死亡した。この7名の他に1例の無症状保菌者が入所者中に発見された。

症例対照研究では、今回の腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症の危険因子を決定することは困難であった。しかし、凍結保存されていた検食のうち、6月15日の朝食に供されたかぶの浅漬けより、EHECが分離された。診療記録より得られた情報により、7名の症例と1名の無症状保菌者全員が、汚染が疑われたかぶの浅漬けを含む朝食を全量食していることが判明した。潜伏期間を推定すると、中央値は6日間(最短4日間、最長8日間)であった。症例とかぶから分離された大腸菌をパルスフィールド・ゲル電気泳動法により解析したところ、同一のDNAパターンであることが明らかとなった。記述疫学、および解析疫学のいずれの解析からも接触感染などを示唆させる結果は得られず、今回の集団発生の原因は、このかぶの浅漬けであることが結論された。

この老人保健施設では、かぶの浅漬けは出入りの食品業者によって前日の晩に準備され、冷蔵庫に保存されていた。しかし、この施設における調理業者が策定したHACCP(Hazard Analysis Critical Control Point: 危害分析に基づく重要管理点方式)システムによる総合衛生管理製造過程には、非加熱食材の前日仕込みは禁止するとあり、さらに10 以下に保管する場合でも、配膳する4時間以内に仕込むと定められており、これらは自主的に策定されたHACCPに反していた。生鮮野菜・果物類の洗浄・消毒に関しては、調理担当者はその施設の要望により設置された電解水(強酸性電解水)を使用していた。さらにこの電解水は、生成直後ではなく、20リットルポリタンクに汲み置きされ、しばしば数時間後に使用されていた。電解水は、低濃度の食塩水を電気分解することで陽極側に生じる次亜塩素酸(HOCl)を主成分としているが、保健所において、汲み置かれた電解水の遊離塩素濃度を経時的に測定したところ、その濃度は16時間までに当初の半分以下に低下することが示された。同じく同HACCPには、生野菜の殺菌については、0.01%次亜塩素酸ナトリウム溶液に10分間漬けることが規定されており、細菌汚染防止のために電解水の使用は記載されておらず、この点にも自主的に策定されたHACCPに対して反する事項がみられた。

汚染の可能性として、1)かぶの出荷から納入までの間の汚染、2)調理中の汚染、3)保存から配膳までの間の汚染が考えられる。県の方では、かぶの流通は、遡って調査されておらず、調理従事者の検便、およびかぶの残品からもEHECは分離されていない。本調査では、いつ、どこで、かぶの汚染が発生したのかを明らかにすることはできなかった。他地域も含め、同時期にかぶに関連した腸炎の集団発生は報告されなかった。

高齢者に日頃から食されるかぶがEHEC集団発生の感染源と考えられたのは、今回が初めてである。今回の集団発生は、死亡者を出す恐れのある食品由来の集団発生の危険を最小限に

するために、HACCPを遵守することの重要性を示唆している。

埼玉県埼玉葛北福祉保健総合センター 上原怜子 倉持一江 赤坂 実 福田健治  
 天下井 昭 沢田俊之  
 埼玉県衛生研究所 山口正則 岸本 剛 正木宏幸  
 埼玉県健康福祉部医療整備課 新階敏恭  
 国立感染症研究所感染症情報センター実地疫学専門家養成コース(FETP-J)  
 砂川富正 藤井逸人  
 国立感染症研究所感染症情報センター 高橋 央 大山卓昭 岡部信彦

( IASR12月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )

## マレーシア・ボルネオ島で感染したレプトスピラ症の1例

レプトスピラ症は *Leptospira interrogans* によって起こる人獣共通感染症である。今回我々はマレーシア・ボルネオ島で感染し、患者からの情報が診断に有用であったレプトスピラ症の1例を経験したので報告する。

症例: 25歳、男性。主訴は発熱、頭痛。2000年8月16日より9月4日までマレーシア・ボルネオ島サバ州にて仲間3人とともに耐久レースに参加した。9月7日より悪寒とともに38~39 度の発熱が出現した。同行者が発熱にて同8日に当院に入院したため、9日当院受診、入院となった。破傷風、狂犬病、ジフテリア、HAワクチン接種済み。マラリア予防内服せず。入院時体温37.9、脈拍90、整。球結膜に貧血・黄染はないが、充血を認めた。表在リンパ節触知せず。胸・腹部異常所見なし。皮膚発疹なし。神経学的に異常所見なし。検査所見ではWBC 13,100/ $\mu$ l (好中球91%)、Hb 14.8g/dl、Plt 19万/ $\mu$ l、T.Bil 0.5mg/dl、GOT 63 IU/l、GPT 66 IU/l、LDH 420 IU/l、BUN 12.5 mg/dl、Cr 0.9mg/dl、CRP 17.8mg/dlであった。末梢血塗抹標本上マラリア原虫陰性、血液、糞便培養で有意菌は検出されなかった。海外において耐久レース参加者がレプトスピラ症を発症したとの主催者情報が患者から得られたため、国立感染症研究所細菌部にて9月11日に採取した検体を用いてレプトスピラの検査をしたが、抗原、抗体とも陰性であった。39 度の発熱が持続するため、レプトスピラ症の臨床診断で12日よりMINO 200mg/日の点滴静注を開始したところ14日以降解熱した。MINOは1週間継続し退院、その後DOXY 200mg/日を2週間経口投与した。9月28日に再検、*Leptospira interrogans* serovar *hebdomadis* に対する抗体が160倍と陽性となり、レプトスピラ症と確定診断した。

考察: マレーシア・ボルネオ島で感染したと考えられるレプトスピラ症の1例を報告した。患者からの情報によりレプトスピラ症を疑い、初回の検査では陰性であったが、ペア血清により抗体価の上昇を確認した。感染症が国際化している現在、その診断においては発生状況などに関する迅速な情報収集が重要であると考えられた。

横浜市立市民病院感染症部 坂本光男 相楽裕子  
 国立感染症研究所細菌部 小泉信夫 渡辺治雄

( IASR2001年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

### カボベルデでポリオの流行

CDC/MMWR 2000年12月1日

2000年8月16日から10月17日の間に7人( 21% )の死亡者を含む急性弛緩性麻痺( AFP )の患者33人がカボベルデで報告された。予備的な検査室検査により8人の患者から野生株のポリオ1型ウイルスが確認された。最初の患者は、首都Praiaの2歳の子供で、麻痺の発症は8月16日であった。その子供は定期的3回の経口接種のポリオワクチン( OPV )のうち、1回しか接種していなかった。22人の患者がSantiago島から、7人がSal島、3人がSan Vincente島、1人がMaio島から報告された。AFPの患者の年齢は3か月から38歳に分布しており、11人( 33% )は5歳未満、15人( 46% )は5 ~ 14歳、7人( 21% )は15歳以上であった。5歳未満の患者からは死亡者は報告されなかった。5 ~ 14歳の患者から3人が死亡し( 致死率: 20% )、15歳以上からは4人が死亡した( 致死率: 57% )。予防接種の接種状況がわかった33人の患者のうち、13人( 39% )は定期的3回全ての予防接種を受けていた。

### ウガンダでのエボラ出血熱 更新

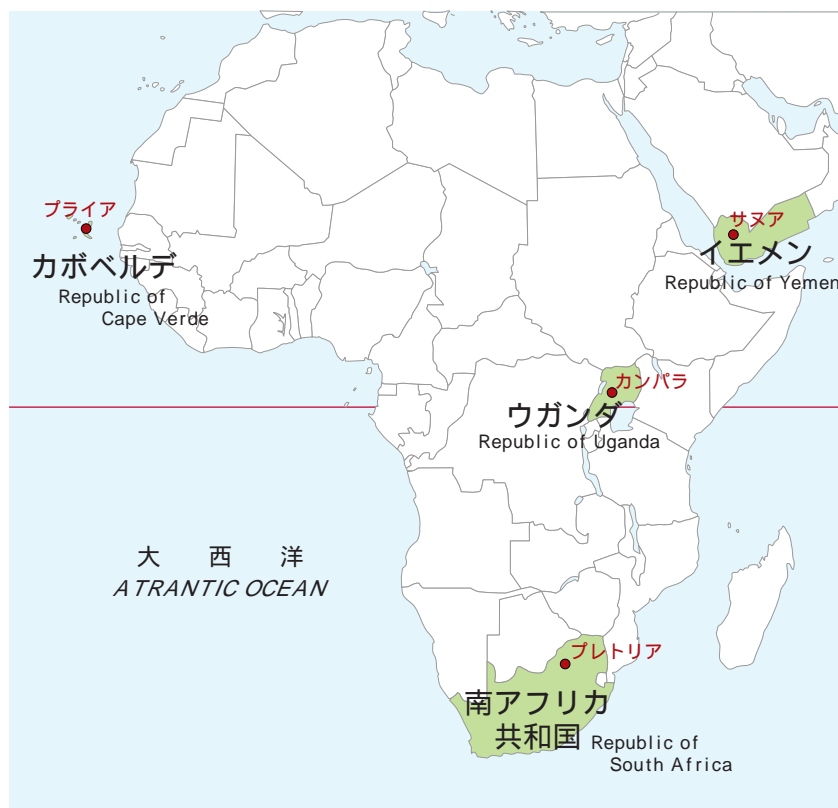
WHO/CSR 2000年11月30日

11月29日までに、ウガンダ保健省からGulu地区での死亡者は140人、累計患者数は354人であることを報告した。

Gulu地区の可動対策チームが疾患対策活動を強化しており、特に最近患者の発生が見られている地域での活動に重点を置いている。患者発見活動の継続と同様に、検査室検査で最近確定診断された患者の接触者を徹底的に経過観察している。

Gulu地区での保健教育を強化するための更なる活動が開始され、住民の啓蒙にはマスメディアも利用されている。

5人の感染疑い患者がタンザニアから報告された。これらの症例に関する調査が進行中で、検体が南アフリカの国立ウイルス研究所へ送られた。検査は暫定的なものではあるが、全例が陰性であった。





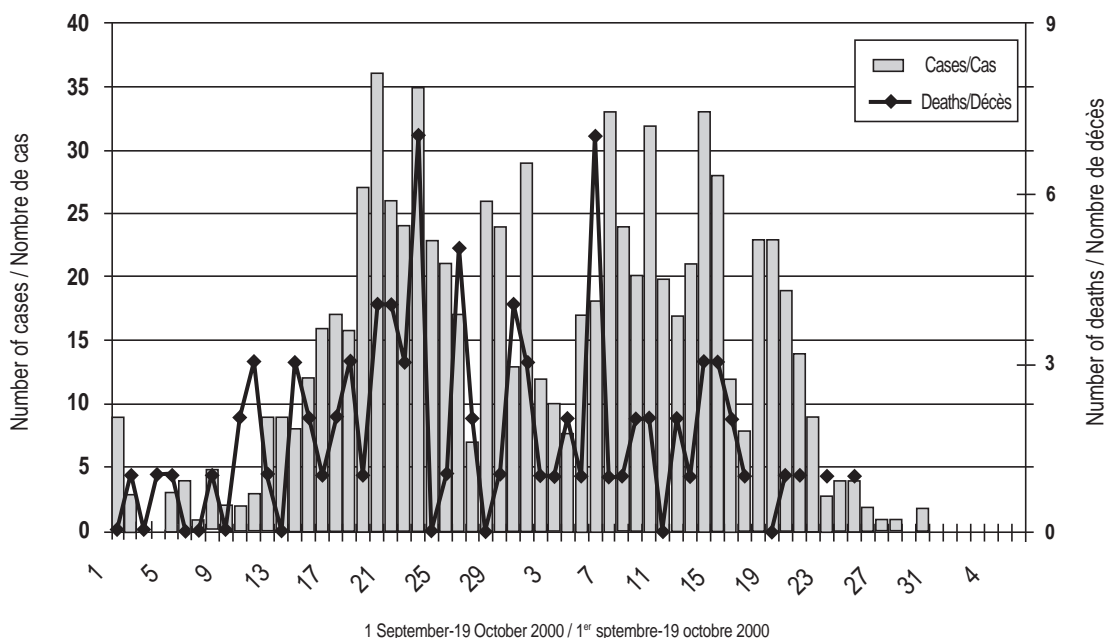
イエメンでのリフトバレー熱 - 更新

WHO/WER 2000年12月1日, MMWR 2000年12月1日

2000年8月7日から11月7日の間に死者121人を含む1,087人の疑い患者( suspect )が確認された( Fig.1 )。疑い患者の平均年齢は32.2歳( 年齢幅は1カ月から95歳 )であった。

1,087例のうち815例( 75% )は症状が出る前に病気の動物との接触、流産の処理および屠殺を行っていた。血清学的検査を行った490例のうち136例( 26% )はリフトバレー熱ウイルスに対するIgM抗体が陽性で、17例( 3% )には弱い血清学的な反応があった。感染伝播は海岸沿いの平野と隣接した山岳地域全体にわたって16地区で確認されている。

Fig. 1 Date of onset and date of death for patients with suspected RVF in Yemen, September-October 2000  
Dates du début de la maladie et dates du décès des cas présumés de FVR au Yémen, septembre-octobre 2000



( WHO週報より )

南アフリカでのコレラ 更新

WHO/CSR 2000年11月27日

Kwazulu-Natalの保健局は2000年8月中旬から始まった流行で、11月27日までに35人の死亡者と5,876人のコレラ患者を報告した。11月20日以降、新たな死亡者および流行地は報告されていない。



# 感染症の話

## レプトスピラ症

ワイル病、秋疫などに代表されるレプトスピラ症は、病原性レプトスピラ感染に起因する人獣共通の細菌(スピロヘータ、写真1)感染症である。レプトスピラ症は全世界的に流行しており、保菌動物(ドブネズミ等)の尿等で汚染された水から経皮的(稀に経口的)に感染するとされる。レプトスピラは日本人によって発見された数少ない病原体の一つである。1999年4月に施行された感染症新法では、レプトスピラ症は届け出疾患に含まれていない。

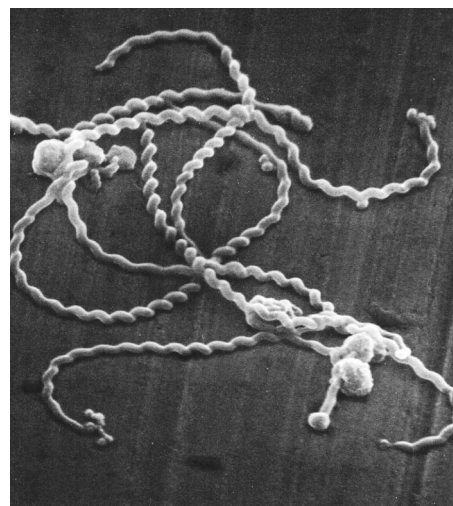


写真1. 病原性レプトスピラ (*Leptospira interrogans*) の電子顕微鏡写真

### 疫学

本邦では1970年代には年間数十名の死亡例が報告されていたが、近年では衛生環境の向上等に比例して患者数および死亡例数は減少傾向にある。届け出義務のある疾患ではないことから、近年の罹患状況を把握することは困難ではあるが、昨年においては2例の死亡が確認されている。また昨年、沖縄県八重山諸島においてレプトスピラ症の集団発生が起こった。15例の確定診断がなされ、その血清型は、*hebdomadis* 8例、*grippotyphosa* 5例、*pyrogenes* 1例、未同定1例であった( IASR 2000年8月号, Vol.21 No.8 P.4-5参照 )。

一方、国外でのレプトスピラ症の流行は全世界的に起こっており、近年報告されたレプトスピラ症の流行事例だけでも、ブラジル、コスタリカなどの中南米、フィリピン、タイ等の東南アジア、インド、中国等の国々での大流行があげられる( 図1 )。特にタイなどでは毎年数千人規模の大流行が繰り返されており、早急な対策が求められている。レプトスピラ症の流行は多雨期から収穫期( 7 ~ 10月頃 )に集中することが疫学的に確認されており、これらの地域を旅行する場合は、洪水が起こっている地域にはなるべく立ち入らないこと、また素足で田圃等に入らないことが極めて重要である。

また、海外からの輸入感染例もしばしば報告されている。本年9月、マレーシア・ボルネオ島での耐久レースに参加した男性1名が、帰国後、発熱および眼球結膜の充血を呈したことから、ペア血清を用いた抗

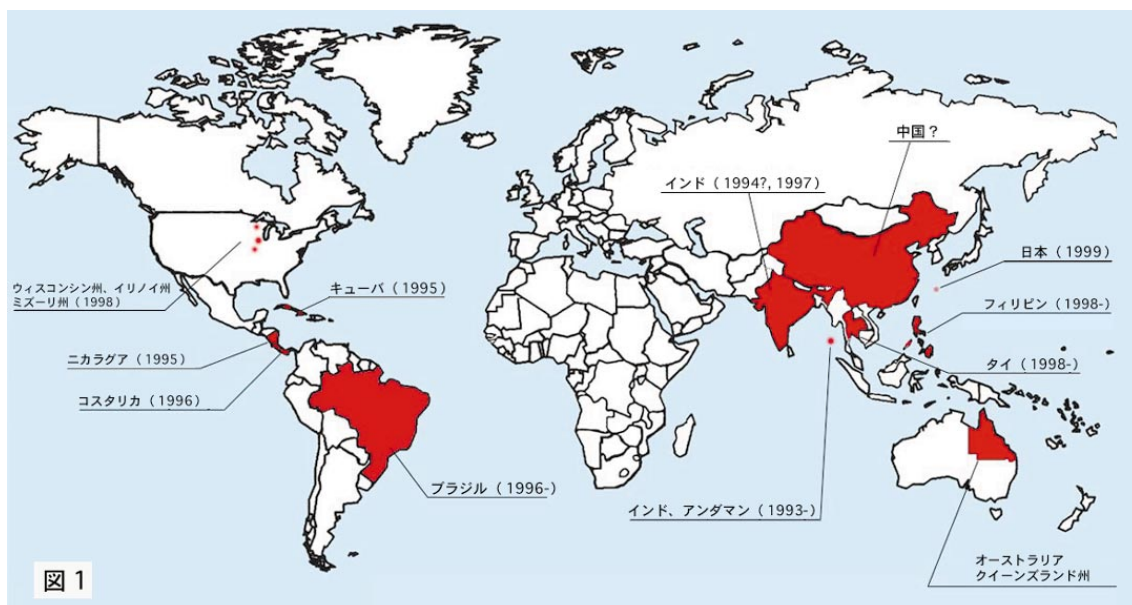


図 1

体検査で、*L.interrogans* 血清型*hebdomadis* に対する抗体価が上昇していたことから、レプトスピラ症として診断された。同じレースに参加した他国の選手間で同様な感染例が報告されていることから、今後レプトスピラに汚染されている可能性がある淡水域でのトライアスロン等の競技開催・参加には十分な注意が必要である。

**病原体**

病原性レプトスピラにはこれまでに250以上もの血清型の存在が報告されている。本邦ではこれまでに表1に示した血清型が確認されている。レプトスピラは一般に用いられる細菌用の培地では増殖できず、分離にはコルトフ培地あるいはEMJH培地等が用いられる。また光学顕微鏡では観察できず、暗視野顕微鏡下で、ひも状螺旋型の回転運動をする菌体が観察される。

表1. 日本におけるヒトレプトスピラ症の血清型と分布

血清型	北海道	本州・四国・九州	南西諸島
<i>icterohaemorrhagiae</i> (ワイル病)	(+)	+	-
<i>copenhageni</i> (ワイル病)	(+)	+	-
<i>autumnalis</i> (秋疫A症)	-	+	+
<i>hebdomadis</i> (秋疫B症)	(+)	+	+
<i>australis</i> (秋疫C症)	-	+	(+)
<i>canicola</i> (イヌ型レプトスピラ症)	(+)	+	+
<i>pyrogenes</i>			+
<i>javanica</i>			+
<i>grippotyphosa</i>			+
<i>kremastos</i>			+

**臨床症状**

レプトスピラ症は急性熱性疾患である。臨床症状は軽症のものから、黄疸、腎障害等を主徴とする重症レプトスピラ症(ワイル病)まで極めて多彩である(表2)。3~14日間の潜伏期間を経て悪寒、発熱、頭痛、腰痛、眼球結膜の充血などが生じ、第4~5病日に黄疸が出現したり出血傾向も増強する。レプトスピラは保菌動物の尿中へと排出され、ヒトへの感染は、保菌動物の尿などに汚染された水との直接接触による経皮感染がほとんどである。保菌動物としては、ドブネズミなどの野生動物やハムスター、犬などの愛玩動物、ウシ、ウマなどの家畜があげられる。

**病原診断**

黄疸、出血、眼結膜の充血、腎障害などの症状を呈した場合では、他の細菌感染による菌血症性多臓器不全、発熱性ウイルス肝炎などとともニワイル病が鑑別診断の対象となる。特異的症状が見られない軽症例や非典型的症例では、あらゆる熱性疾患が鑑別対象となるが、保菌動物や病原体に汚染された水との接触機会の有無、流行地域への旅行歴等、疫学的背景からレプトスピラ感染が疑われる場合では本症が優先的検査対象となろう。

表2. レプトスピラ症患者に見られる臨床所見

症状・徴候	陽性所見(%)	
	黄疸(+) N=106	黄疸(-) N=102
<b>症状</b>		
発熱	99	100
筋痛	97	97
頭痛	91	82
悪寒	85	84
咽頭痛	79	72
悪心	75	71
嘔吐	69	65
眼痛	46	54
下痢	27	23
尿量減少	25	20
咳嗽	24	15
咯血	9	5
<b>徴候</b>		
結膜充血	99	100
筋圧痛	75	70
肝腫大	80	60
肺病変	24	11
リンパ節腫脹	24	35
点状出血、斑状出血	16	4

Watt G. Leptospirosis. Current Opinion in Infectious Diseases 5, 659-663, 1992.より引用.

### 1. 病原体の分離

分離培養には発熱期の全血を用いる。採血後、無菌的かつ速やかにレプトスピラ培養培地( コルトフ培地、EMJH培地など )に加え、30℃ で数日 ~ 2週間静置培養する。暗視野顕微鏡下で病原体が観察される。組織学的に銀染色法、蛍光抗体法などで検出が可能である。

### 2. 抗体価測定法

顕微鏡下凝集反応法( MAT )、マイクロカプセル凝集法、dipstick法、slide agglutination test( SAT )など。特異性に優れた顕微鏡下凝集反応法が一般的に用いられる。顕微鏡下凝集反応法は、使用する抗原レプトスピラの発育状況、抗原量、反応条件により検査価に若干のばらつきがみられるため、鏡検には習熟を要する。抗レプトスピラ抗体は感染後長期にわたって残存すると考えられることから、単一血清による凝集反応では急性期と感染の既往を判別することは難しいとされる。感染の早期では抗体が証明されず、偽陰性となる場合があるので、できればペア血清を用いた検査が必要である。判定は、単一血清であれば抗体価40倍以上、ペア血清の場合4倍以上の上昇がみられた場合を陽性とする。通常生理的因子により変動することはないとされる。

### 3. 病原体遺伝子のPCRによる検出

全血よりレプトスピラの16S rRNA遺伝子、鞭毛遺伝子のPCRによる検出系がある。

## 治 療

重度の症状の場合はペニシリンによる治療が一般に行なわれる。ペニシリンGを6時間毎に1.5メガユニット静脈注射を7日間行なう。他のスピロヘータ感染と同様に、レプトスピラ症の治療にペニシリンを用いた場合はJarisch-Herxheimer反応( 抗生剤投与後に起こる、破壊された菌体成分によるとみられる発熱、低血圧を主症状とするショック )が見られることがあるので、静注投与を受けた患者の観察が必要である。また軽 ~ 中等度の場合には、1日2回ドキシサイクリン100mgを7日間服用することが勧められている。通常ヒト-ヒト感染はないとされているが、レプトスピラに感染したAIDS患者が保菌者となる場合があるとの報告もある。

## 【備 考】

レプトスピラに感染した犬を診断した獣医師が、検査の過程でレプトスピラに感染した可能性がある例がいくつか報告されている。検体の血液、尿などを素手で触るのは極力避けるようにすべきである。

( 国立感染症研究所細菌部 小泉信夫 )



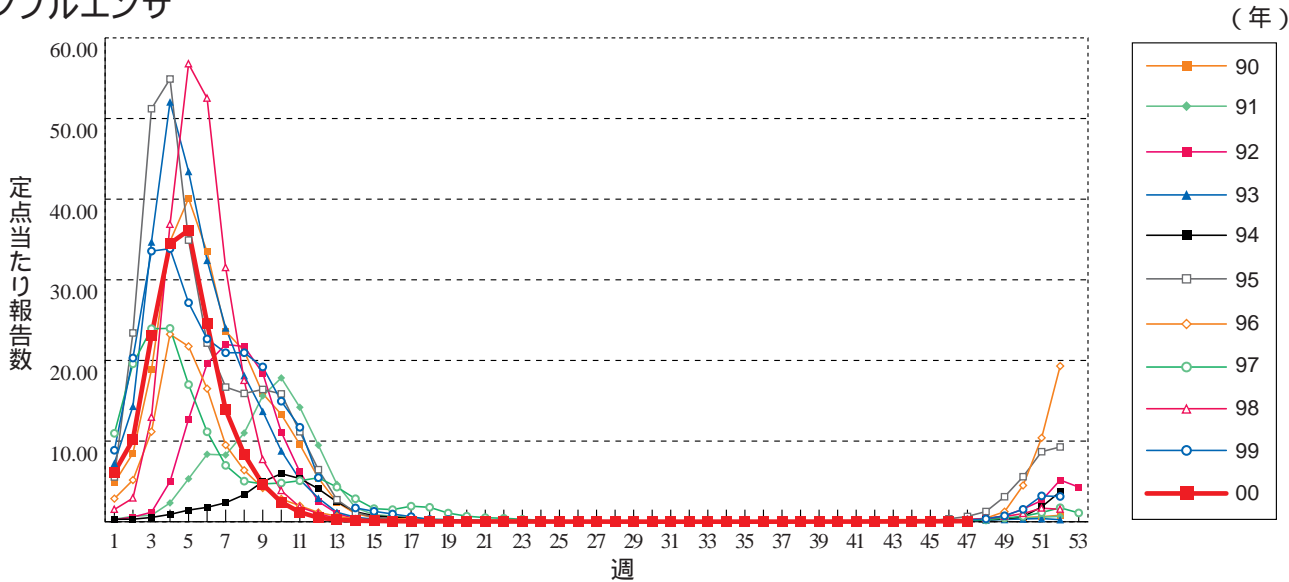
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

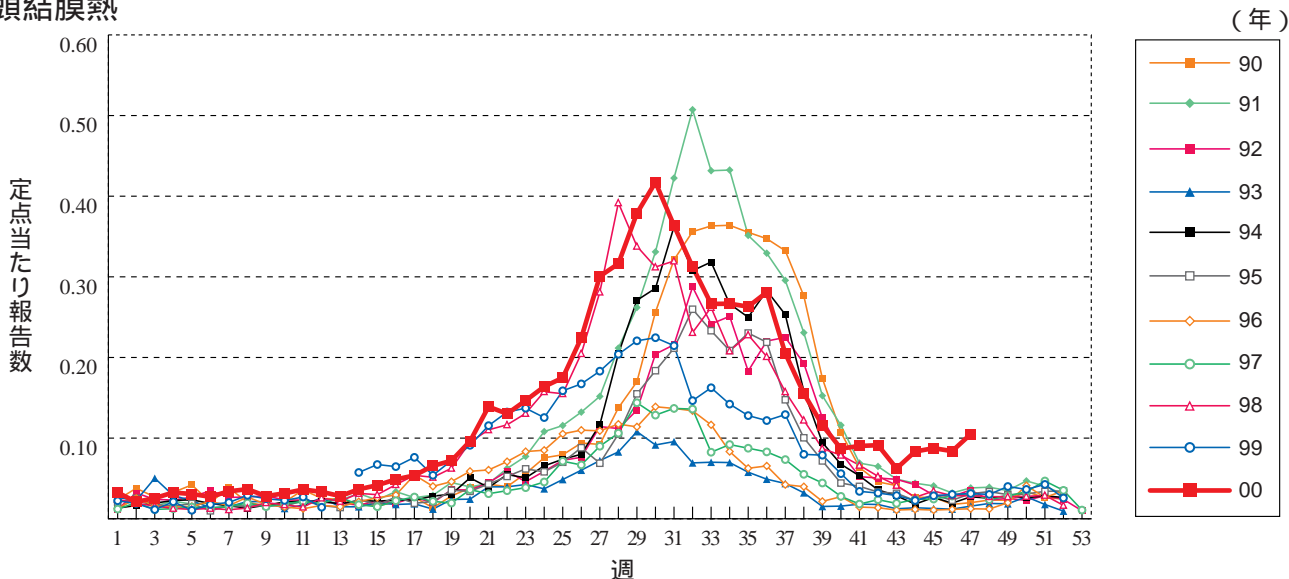
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧( 47週 )**

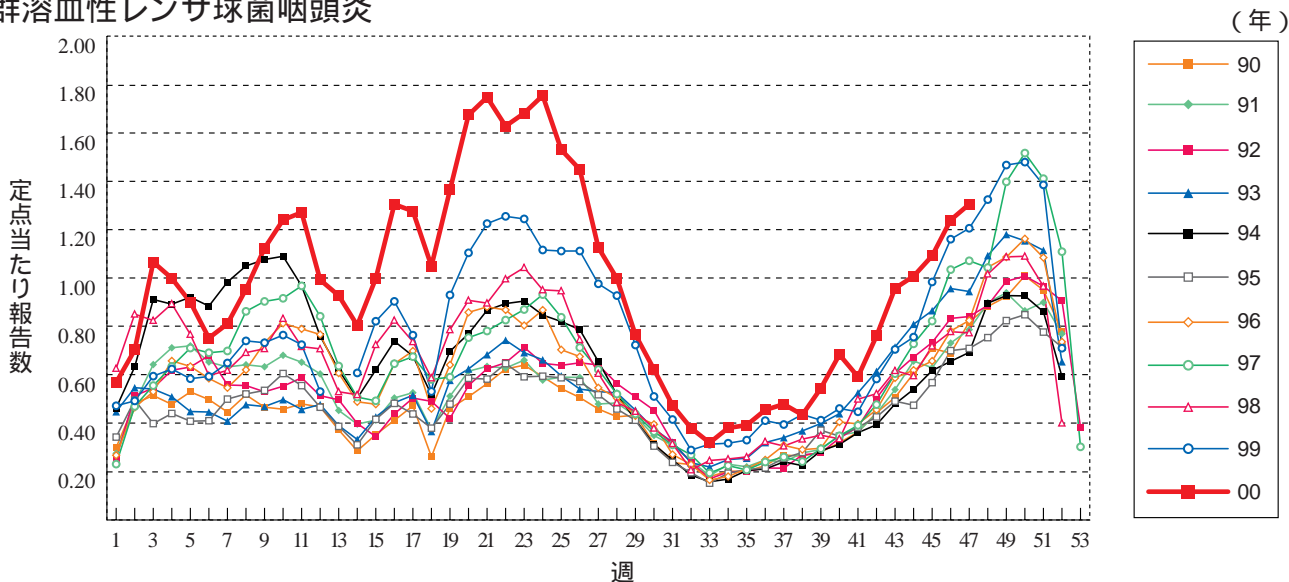
**インフルエンザ**



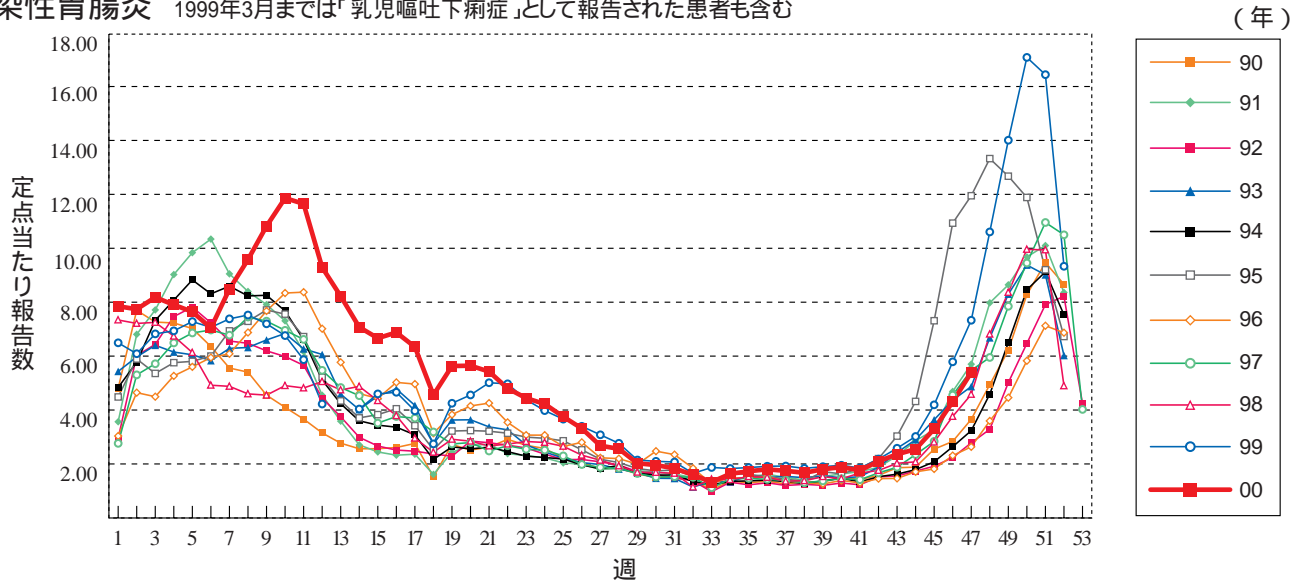
**咽頭結膜熱**



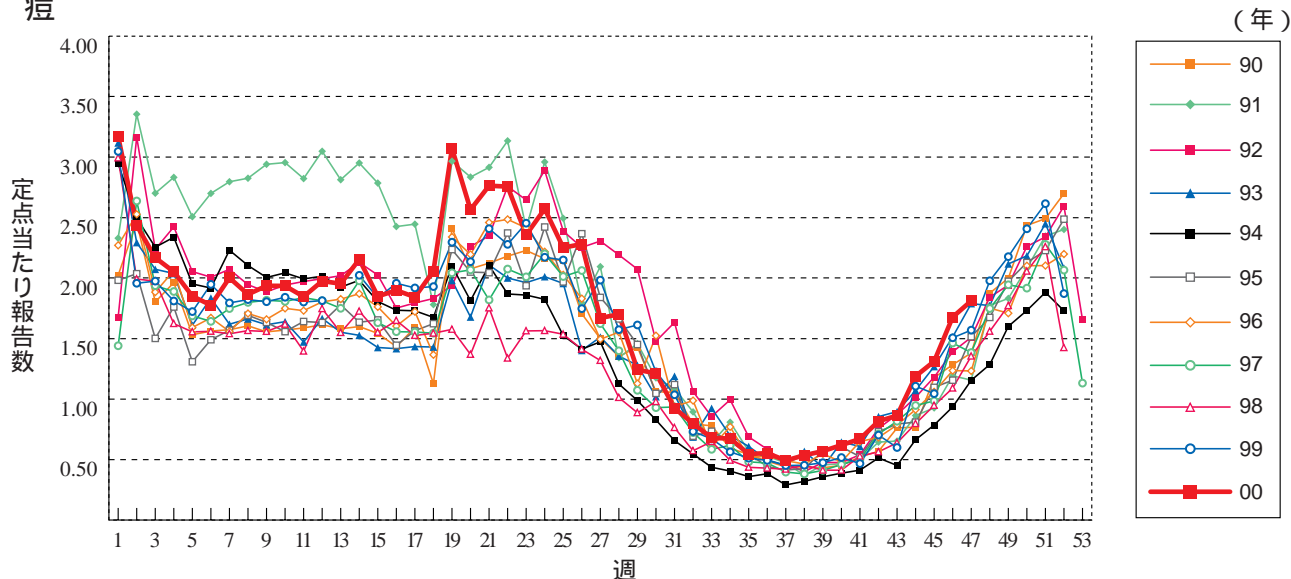
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



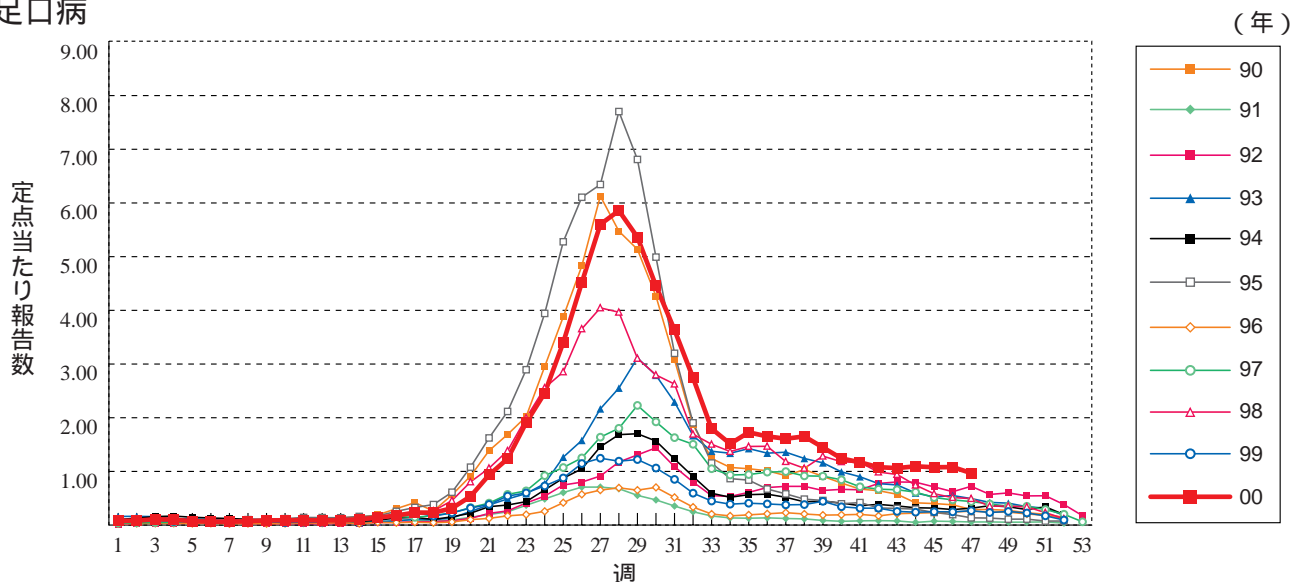
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



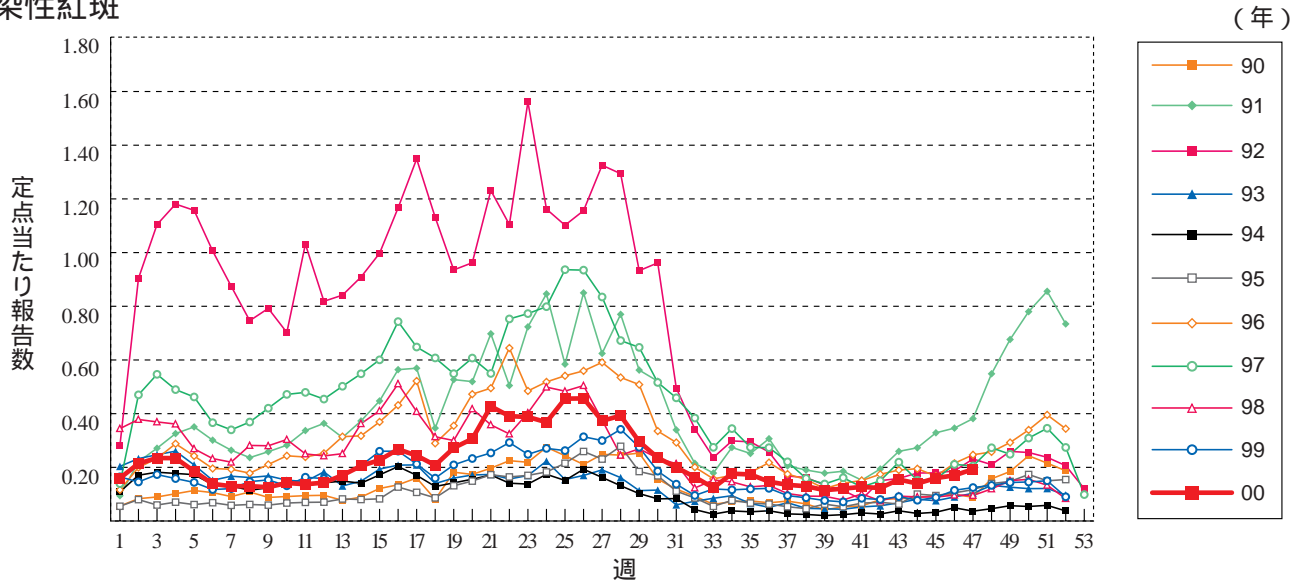
**水痘**



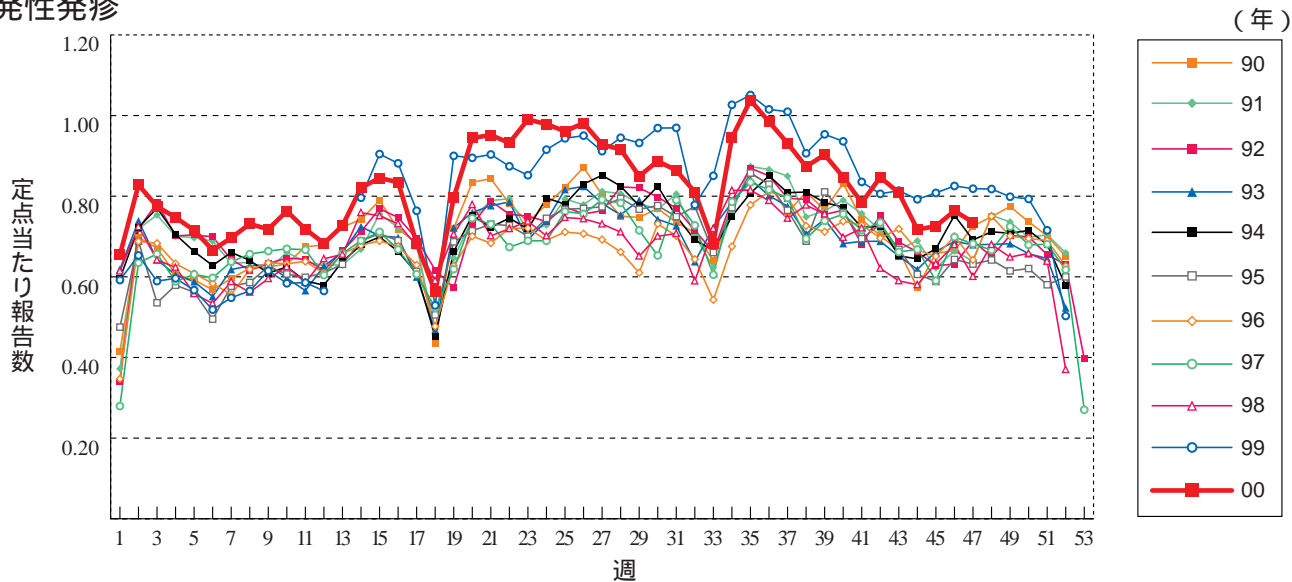
**手足口病**



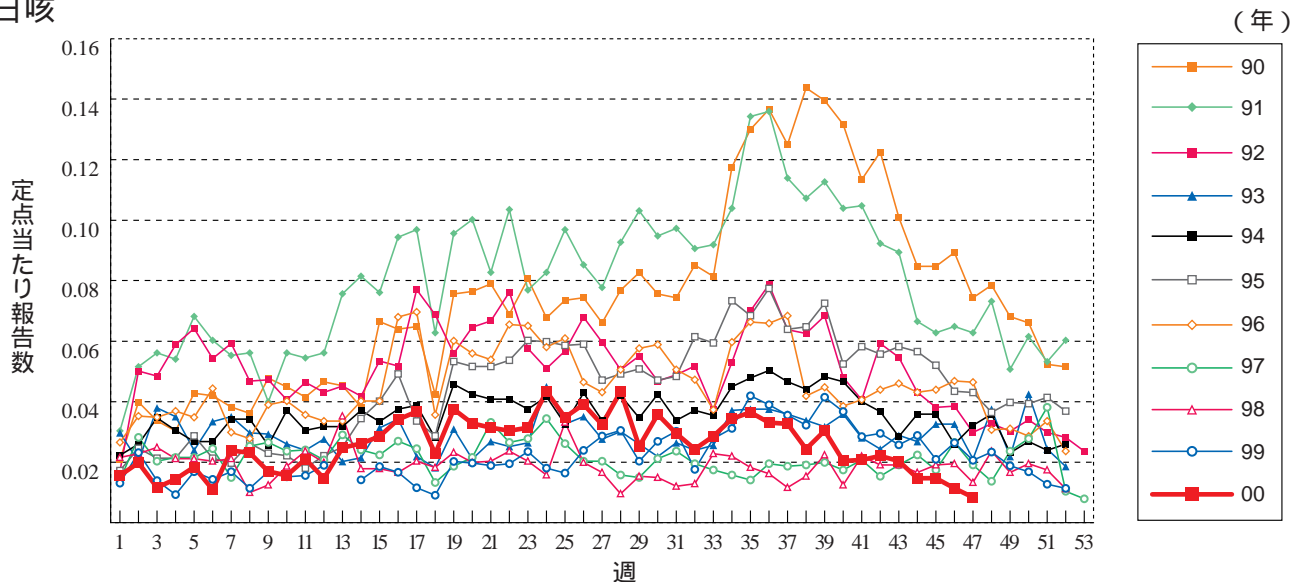
伝染性紅斑



突発性発疹

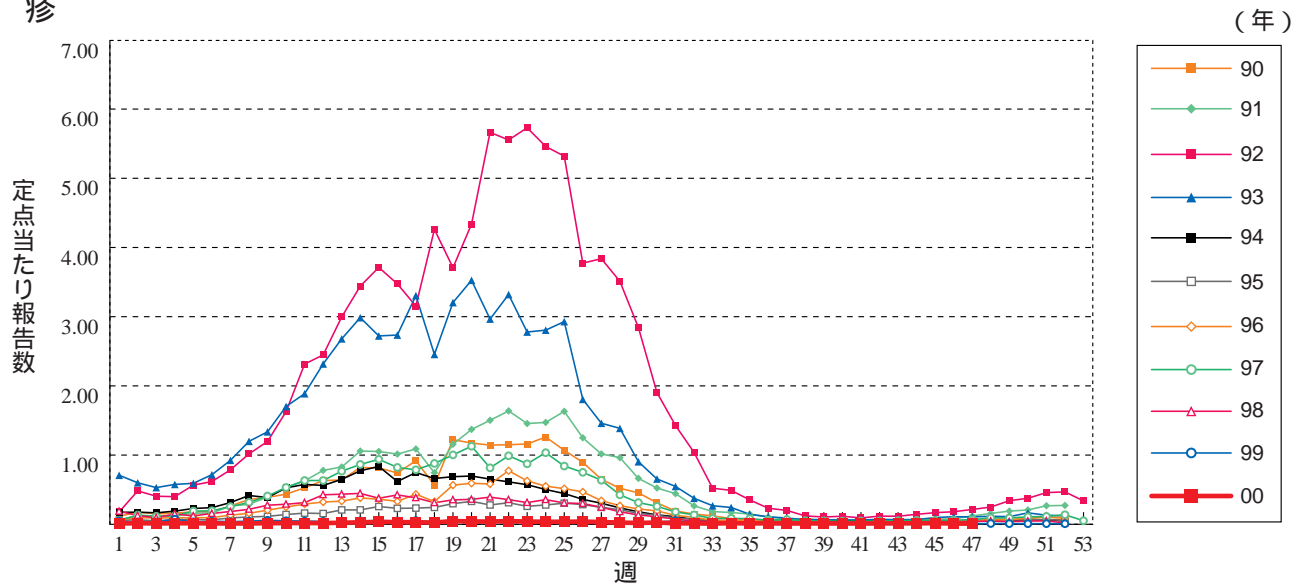


百日咳

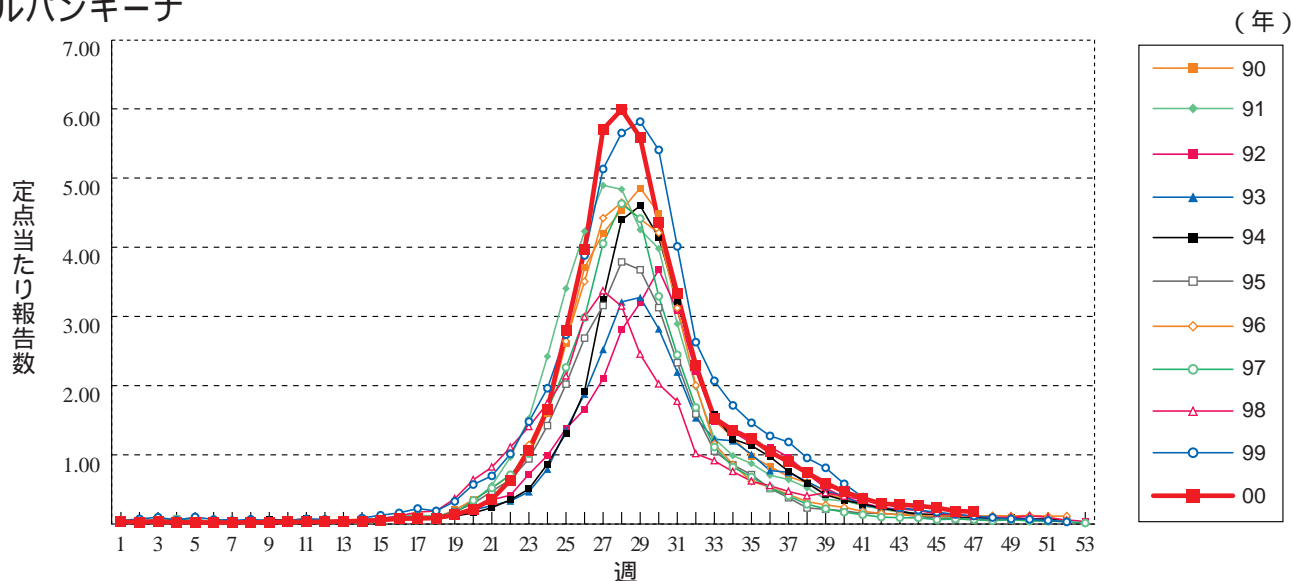




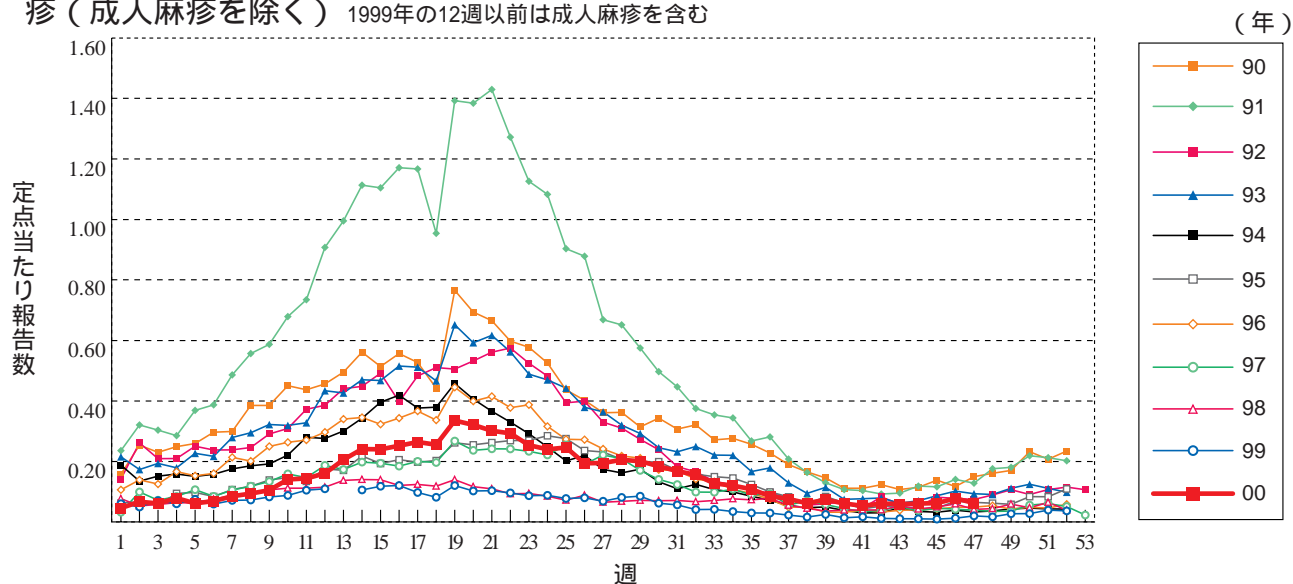
風 疹



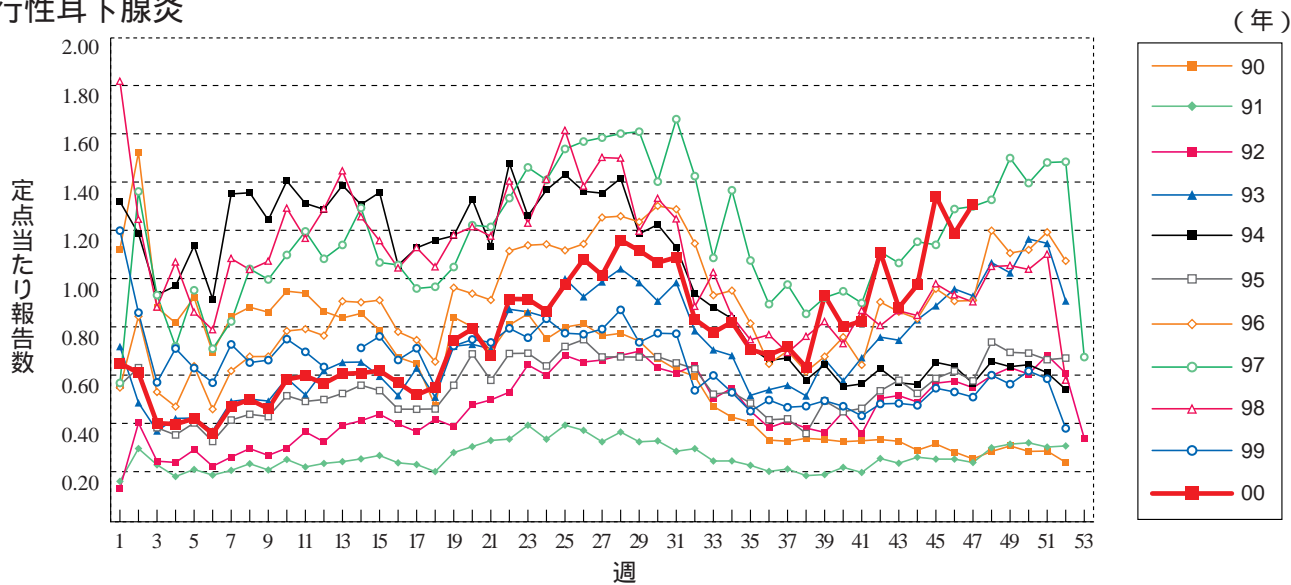
ヘルパンギーナ



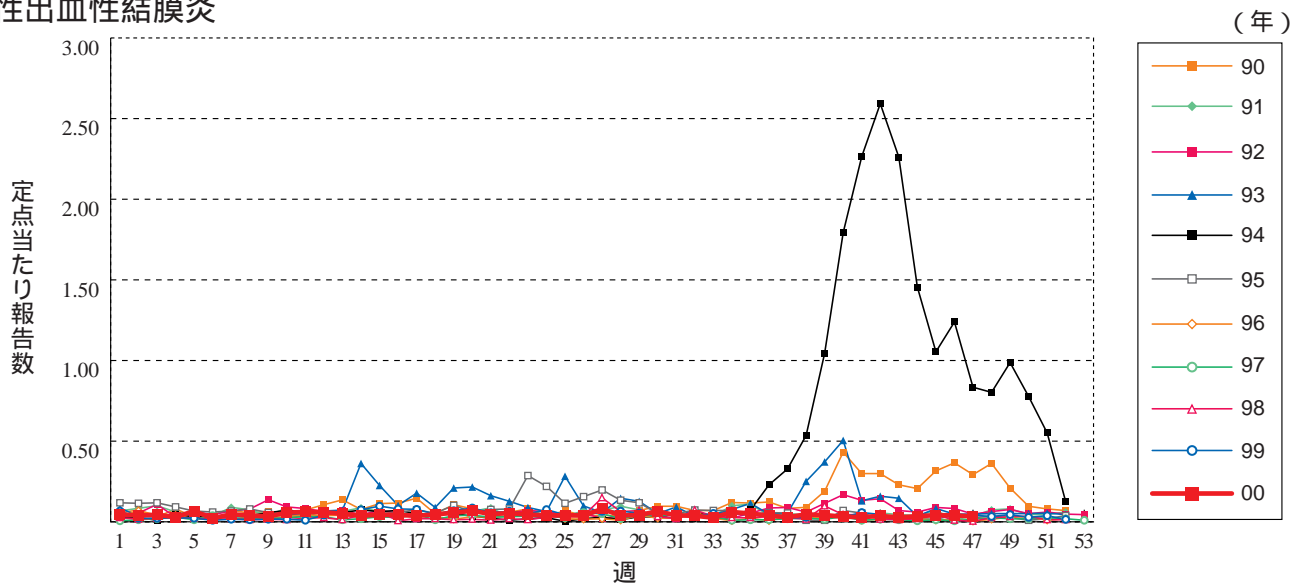
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



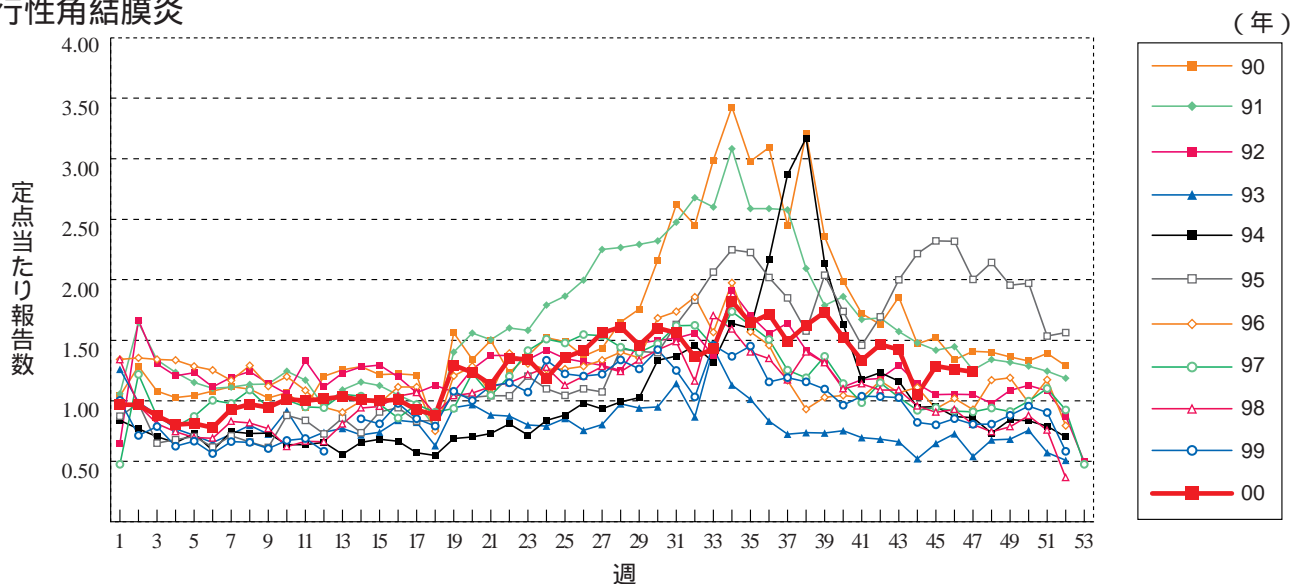
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

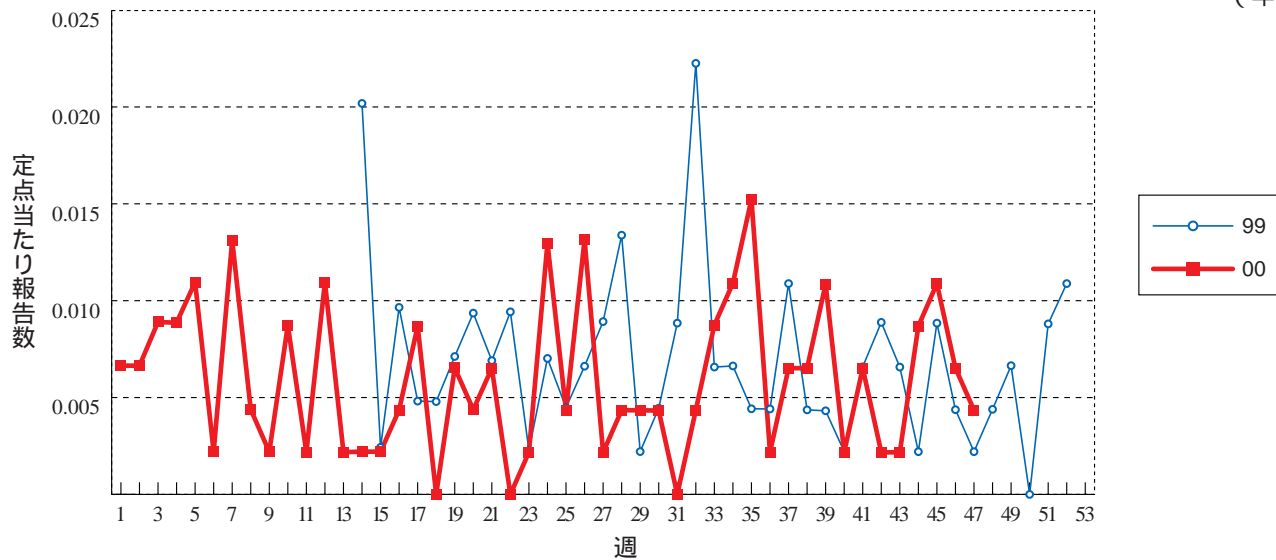


流行性角結膜炎



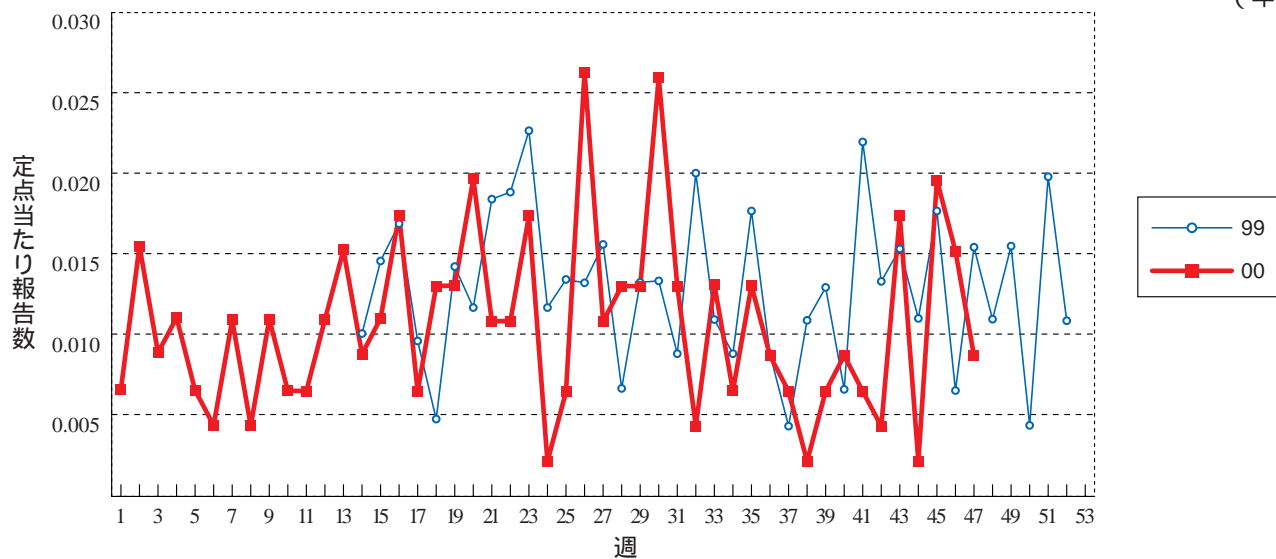
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



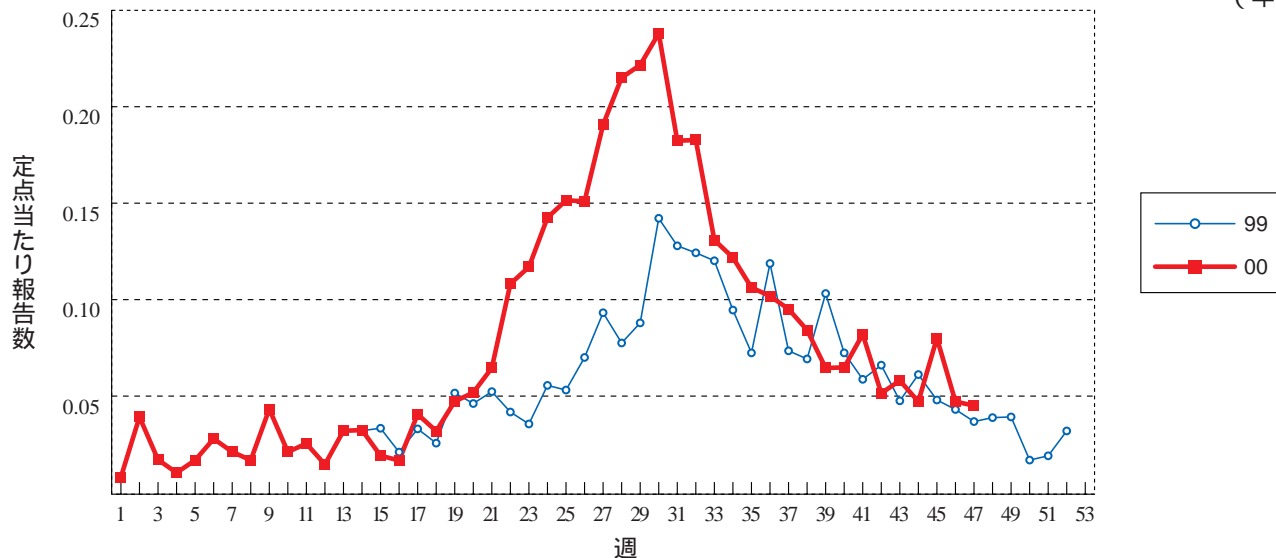
細菌性髄膜炎

(年)



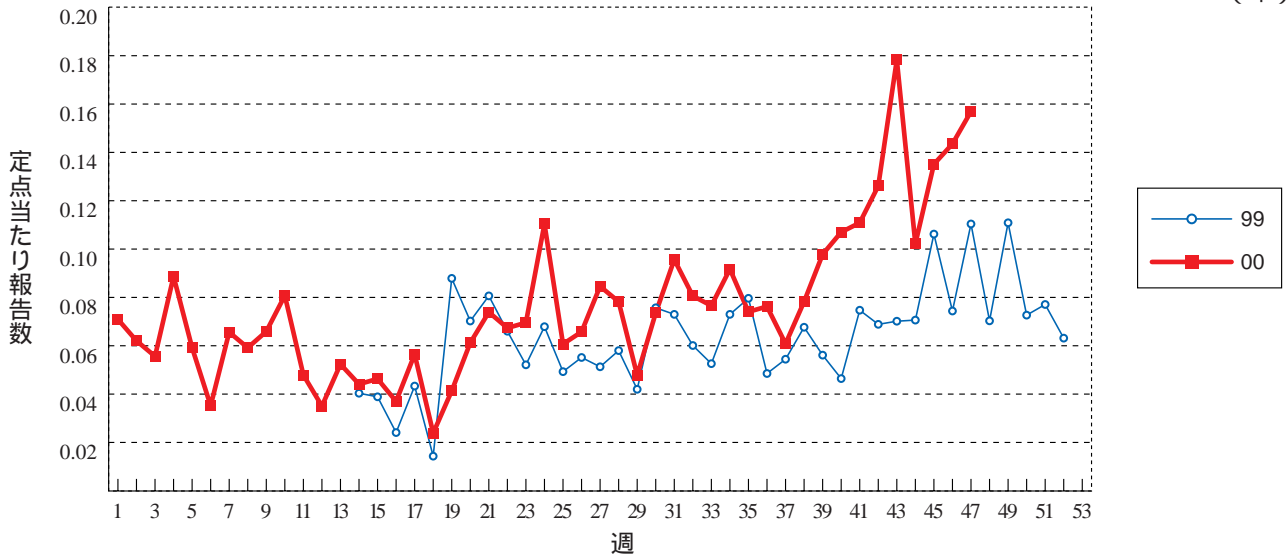
無菌性髄膜炎

(年)



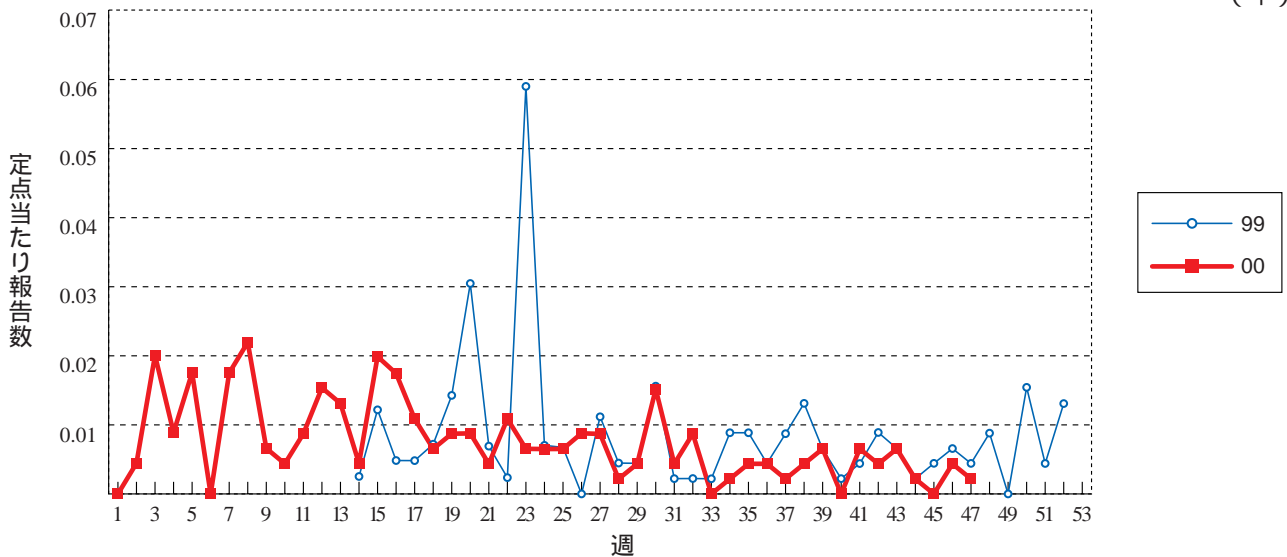
マイコプラズマ肺炎

(年)



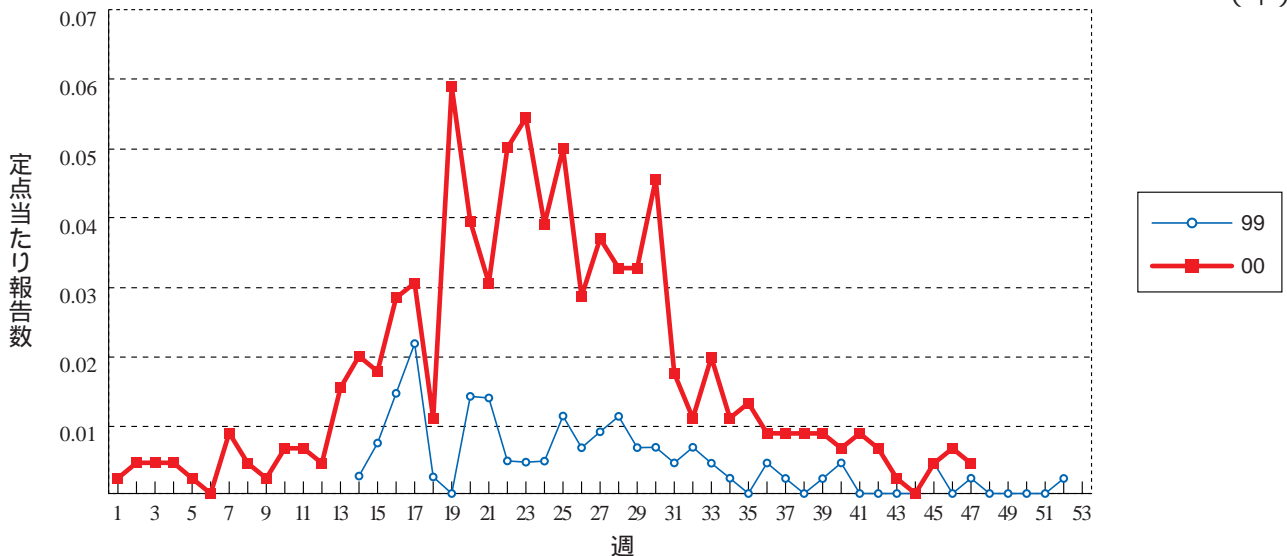
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 47週のデータ

注)表中の報告数は12月1日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年47週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	14	764	1	80	-	19	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	24	-	3	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	3	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	26	-	4	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	132	1	15	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	55	-	4	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	15	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	24	-	4	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	43	-	7	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	20	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	63	-	8	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	28	-	7	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	14	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	13	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	41	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年47週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	56	3409	2	324	-	20	-	-	-	18	-	-	5	896
北海道	-	-	-	-	3	97	-	6	-	19	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	1	41	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	1	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	56	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
秋田県	-	-	-	-	4	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	1	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	20	-	5	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
栃木県	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
埼玉県	-	-	-	-	-	94	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	8	131	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
東京都	-	-	-	-	2	293	1	79	-	-	-	-	-	4	-	-	-	93
神奈川県	-	-	-	-	1	156	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	46
新潟県	-	-	-	-	-	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	-	-	-	1	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
長野県	-	-	-	-	1	34	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	2	33	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
静岡県	-	-	-	-	15	52	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37
愛知県	-	-	-	-	4	222	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
三重県	-	-	-	-	-	49	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	1	53	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
大阪府	-	-	-	-	3	333	-	49	-	-	-	-	-	1	-	-	-	94
兵庫県	-	-	-	-	-	183	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	1	96
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
和歌山県	-	-	-	-	-	39	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
鳥取県	-	-	-	-	-	31	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	94	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	29
広島県	-	-	-	-	1	114	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20
山口県	-	-	-	-	1	38	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	3	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	2	313	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
佐賀県	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	53	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
沖縄県	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年47週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	16	-	-	-	3	1	85	1	43	4	690	-	1	1	81	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	44	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	33	-	-	-	6	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	53	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	12	1	7	3	276	-	1	1	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	39	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	4	-	2	1	20	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	3	-	24	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	45	-	-	-	9	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	5	-	17	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年47週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	1	-	-	40	420	-	17	-	35	-	6	-	-	3	670
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	2	20	-	-	-	9	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	1	5	-	11	-	-	-	-	-	-	1	105
神奈川県	-	1	-	-	-	-	9	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	6	-	-	-	-	-	41
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	-	-	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	28
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	3	18	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	3	20	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	4	41	-	-	-	3	-	-	-	-	1	11
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年47週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	83	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	2	141	-	10	1	133
北海道	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
東京都	-	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	59	-	-	-	8
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	29
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	3
兵庫県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年47週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	374	0.08	314	0.10	3904	1.31	16182	5.41	5420	1.81	2890	0.97	576	0.19	2199	0.74	25	0.01
北海道	1	0.00	6	0.04	293	2.02	588	4.06	396	2.73	19	0.13	34	0.23	79	0.54	1	0.01
青森県	3	0.05	1	0.02	29	0.71	141	3.44	169	4.12	47	1.15	9	0.22	16	0.39	-	-
岩手県	-	-	-	-	59	1.55	166	4.37	121	3.18	20	0.53	15	0.39	20	0.53	-	-
宮城県	5	0.05	1	0.02	129	2.19	712	12.07	150	2.54	137	2.32	33	0.56	56	0.95	-	-
秋田県	5	0.09	1	0.03	61	1.79	145	4.26	74	2.18	26	0.76	1	0.03	27	0.79	-	-
山形県	6	0.13	3	0.10	77	2.57	164	5.47	168	5.60	19	0.63	11	0.37	32	1.07	1	0.03
福島県	-	-	-	-	38	0.79	447	9.31	86	1.79	60	1.25	15	0.31	33	0.69	1	0.02
茨城県	5	0.05	3	0.04	77	1.07	277	3.85	133	1.85	56	0.78	8	0.11	29	0.40	-	-
栃木県	5	0.07	-	-	145	3.22	180	4.00	60	1.33	89	1.98	7	0.16	31	0.69	-	-
群馬県	2	0.02	4	0.06	131	2.11	255	4.11	125	2.02	12	0.19	9	0.15	45	0.73	-	-
埼玉県	36	0.14	15	0.09	285	1.79	1032	6.49	271	1.70	104	0.65	64	0.40	136	0.86	2	0.01
千葉県	13	0.06	9	0.07	209	1.57	402	3.02	227	1.71	249	1.87	46	0.35	115	0.86	-	-
東京都	10	0.06	6	0.04	78	0.55	523	3.68	111	0.78	66	0.46	35	0.25	78	0.55	2	0.01
神奈川県	19	0.06	12	0.06	183	0.89	966	4.71	380	1.85	74	0.36	35	0.17	143	0.70	-	-
新潟県	10	0.10	10	0.17	160	2.67	495	8.25	195	3.25	69	1.15	8	0.13	56	0.93	2	0.03
富山県	1	0.02	6	0.21	50	1.72	197	6.79	46	1.59	47	1.62	1	0.03	17	0.59	-	-
石川県	-	-	11	0.38	31	1.07	291	10.03	54	1.86	63	2.17	18	0.62	28	0.97	1	0.03
福井県	1	0.04	5	0.24	19	0.90	127	6.05	47	2.24	57	2.71	3	0.14	21	1.00	1	0.05
山梨県	13	0.32	1	0.04	16	0.64	53	2.12	32	1.28	52	2.08	3	0.12	9	0.36	-	-
長野県	14	0.17	11	0.21	114	2.19	306	5.88	171	3.29	37	0.71	3	0.06	41	0.79	-	-
岐阜県	10	0.12	-	-	46	0.87	185	3.49	115	2.17	88	1.66	8	0.15	24	0.45	-	-
静岡県	18	0.13	22	0.26	87	1.01	385	4.48	112	1.30	165	1.92	11	0.13	71	0.83	-	-
愛知県	19	0.10	3	0.02	290	1.59	812	4.46	297	1.63	459	2.52	45	0.25	142	0.78	2	0.01
三重県	3	0.04	4	0.09	59	1.31	357	7.93	92	2.04	37	0.82	5	0.11	57	1.27	-	-
滋賀県	1	0.02	4	0.13	38	1.27	93	3.10	28	0.93	12	0.40	3	0.10	13	0.43	-	-
京都府	36	0.29	-	-	68	0.89	943	12.41	112	1.47	23	0.30	7	0.09	52	0.68	-	-
大阪府	29	0.11	56	0.29	172	0.90	883	4.62	212	1.11	45	0.24	20	0.10	132	0.69	2	0.01
兵庫県	24	0.12	12	0.10	100	0.79	1002	7.95	187	1.48	95	0.75	7	0.06	98	0.78	3	0.02
奈良県	4	0.07	2	0.06	43	1.23	128	3.66	95	2.71	20	0.57	3	0.09	19	0.54	1	0.03
和歌山県	3	0.06	2	0.06	32	1.03	46	1.48	60	1.94	13	0.42	2	0.06	17	0.55	-	-
鳥取県	-	-	9	0.47	93	4.89	152	8.00	30	1.58	32	1.68	-	-	24	1.26	-	-
島根県	1	0.03	2	0.09	9	0.39	49	2.13	68	2.96	30	1.30	-	-	16	0.70	-	-
岡山県	-	-	15	0.28	62	1.15	299	5.54	97	1.80	29	0.54	-	-	30	0.56	1	0.02
広島県	4	0.03	3	0.04	100	1.33	360	4.80	113	1.51	35	0.47	4	0.05	43	0.57	-	-
山口県	1	0.01	9	0.18	102	2.08	543	11.08	64	1.31	57	1.16	6	0.12	47	0.96	2	0.04
徳島県	4	0.11	5	0.22	13	0.57	78	3.39	44	1.91	21	0.91	2	0.09	24	1.04	-	-
香川県	1	0.02	5	0.16	11	0.34	55	1.72	30	0.94	30	0.94	6	0.19	26	0.81	1	0.03
愛媛県	2	0.03	5	0.13	52	1.33	236	6.05	62	1.59	41	1.05	3	0.08	34	0.87	1	0.03
高知県	1	0.02	7	0.23	49	1.58	42	1.35	26	0.84	22	0.71	-	-	18	0.58	-	-
福岡県	8	0.05	15	0.19	65	0.82	820	10.38	115	1.46	63	0.80	33	0.42	73	0.92	-	-
佐賀県	-	-	-	-	25	1.09	127	5.52	67	2.91	30	1.30	13	0.57	23	1.00	-	-
長崎県	-	-	-	-	25	0.57	174	3.95	59	1.34	14	0.32	4	0.09	22	0.50	-	-
熊本県	11	0.14	10	0.20	40	0.82	184	3.76	106	2.16	42	0.86	20	0.41	43	0.88	-	-
大分県	2	0.03	5	0.14	38	1.06	240	6.67	83	2.31	26	0.72	5	0.14	50	1.39	-	-
宮崎県	5	0.08	12	0.32	52	1.41	274	7.41	67	1.81	61	1.65	6	0.16	42	1.14	-	-
鹿児島県	35	0.36	2	0.03	35	0.58	233	3.88	35	0.58	18	0.30	4	0.07	37	0.62	1	0.02
沖縄県	3	0.05	-	-	14	0.41	15	0.44	28	0.82	79	2.32	1	0.03	10	0.29	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年47週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	28	0.01	534	0.18	187	0.06	3928	1.31	21	0.03	778	1.24	2	0.00	4	0.01	21	0.05
北海道	4	0.03	4	0.03	16	0.11	295	2.03	-	-	30	1.03	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	1	0.02	-	-	74	1.80	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	8	0.21	2	0.17	15	1.25	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	15	0.25	5	0.08	15	0.25	-	-	2	0.18	-	-	-	-	1	0.08
秋田県	-	-	3	0.09	-	-	10	0.29	-	-	11	1.57	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	3	0.10	-	-	27	0.90	-	-	3	0.38	-	-	1	0.11	-	-
福島県	-	-	7	0.15	3	0.06	20	0.42	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	3	0.04	4	0.06	96	1.33	-	-	46	2.88	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	1	0.02	6	0.13	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	5	0.08	-	-	99	1.60	1	0.07	16	1.14	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	28	0.18	7	0.04	527	3.31	1	0.03	41	1.14	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	5	0.04	3	0.02	237	1.78	-	-	58	1.71	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	10	0.07	-	-	137	0.96	-	-	12	0.86	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	1	0.00	8	0.04	8	0.04	397	1.94	1	0.02	58	1.38	-	-	-	-	6	0.55
新潟県	-	-	-	-	-	-	151	2.52	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	2	0.07	-	-	9	0.31	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	4	0.14	1	0.14	10	1.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	59	2.81	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	2	0.08	13	0.52	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	5	0.10	-	-	30	0.58	1	0.10	18	1.80	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	3	0.06	61	1.15	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	21	0.24	-	-	183	2.13	-	-	10	0.50	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	31	0.17	1	0.01	225	1.24	-	-	16	0.46	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	11	0.24	1	0.02	92	2.04	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	5	0.17	-	-	29	0.97	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	6	0.08	3	0.04	71	0.93	2	0.11	16	0.89	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	1	0.01	58	0.30	18	0.09	170	0.89	5	0.10	30	0.58	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	11	0.09	4	0.03	124	0.98	-	-	30	0.86	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	16	0.46	27	0.77	23	0.66	1	0.11	11	1.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	12	0.39	-	-	5	0.16	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	1	0.05	15	0.79	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	2	0.09	3	0.13	1	0.04	40	1.74	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	10	0.19	-	-	20	0.37	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	16	0.21	1	0.01	53	0.71	1	0.05	18	0.90	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	11	0.22	1	0.02	124	2.53	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	7	0.30	-	-	11	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	11	0.34	-	-	27	0.84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	89	2.28	-	-	27	0.69	1	0.14	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.06	15	0.48	25	0.81	11	0.35	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	7	0.09	9	0.11	125	1.58	-	-	61	3.39	-	-	1	0.07	2	0.13
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	39	1.70	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	3	0.07	-	-	19	0.43	1	0.13	32	4.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	9	0.18	1	0.02	139	2.84	1	0.11	36	4.00	1	0.07	1	0.07	-	-
大分県	-	-	30	0.83	10	0.28	16	0.44	-	-	5	1.00	-	-	1	0.10	3	0.30
宮崎県	-	-	22	0.59	-	-	32	0.86	1	0.25	25	6.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	22	0.37	18	0.30	22	0.37	-	-	7	1.40	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	14	0.41	11	0.32	1	0.10	20	2.00	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年47週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	72	0.16	1	0.00	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	6	0.30	-	-	-	-
宮城県	11	0.92	1	0.08	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	3	0.60	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.22	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.50	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.15	-	-	-	-
奈良県	3	0.50	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	2	0.25	-	-	-	-
徳島県	3	0.50	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.14	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	2	0.20
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	5	0.71	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第47号 平成12年12月8日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生省保健医療局結核感染症課  
 厚生省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhw.go.jp/>  
 <厚生省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。